

第19号

琴清苑だより

発行：社会福祉法人 双葉会
介護老人福祉施設 琴清苑
編集：広報委員会

〒198-0212 東京都西多摩郡奥多摩町氷川1099
TEL 0428-83-3932 FAX 0428-83-3706
URL <http://www.futabakai.or.jp>
e-mail kinseien@futabakai.or.jp



2月8日豆まきにて

琴清苑に福来る

ごあいさつ

琴清苑長 小澤 大

先日、何気なく庭に目をやると遅咲きの紅筆がふっくらと蕾を膨らませていた。小さな庭にも太陽はその恵みを与えてくれる。自然は総てに公平だと実感しました。福祉もかくありたいとつくづく思ったところでした。長引く不況は世界に誇った我が国の経済を根底からゆさぶっていますが、各方面にその影響が続き治まるところを見出せない状況です。財政難は介護保険制度をも直撃しています。今年法で定められた介護保険制度の抜本見直しの年となります。自己負担（一割負担）の引き上げ、被保険者の四十歳以上から二十歳以上への拡大、施設入所者の住居費・光熱費の自己負担、要支援・要介護一のサービスメニュー見直し、昨年施行された障害者の支援費制度は初年度から財源不足となり、厚労省は支援量の急増を見誤ったと指摘されていますが、これを介護保険に統合する等々、制度改正に向けて社会保障審議会で盛んに議論が進められています。介護度の重・軽を問わず誰もが公平に必要な時に、あたりまえに利用できることが本来求められる姿であると思います。戦後の日本復活の原動力となった高齢者が不幸の坂をころげ落ちることのないよう、しっかりと議論し充実した制度を構築して貰いたいものです。財政事情によってぐらつきを見せるようでは砂上の楼閣に等しい。

平成十六年度がスタートしました。前年度実施された介護報酬単価の引き下げ、東京都が実施している特養ホームに対する経営支援補助金制度の大半を占めるⅡ類の廃止等、施設をとりまく非常に厳しい状況の中、あらゆる面から見直しを行います。経営基盤の確立を図ることが最重要課題であります。こうした厳しさの中にも、施設利用者が安心・安全・快適な生活を実感できる事業を展開していくことが求められるところであり、その基本となるものは何としても職員の資質の向上に外ならないと思っています。このことを互いに自覚し研鑽を重ね地域に対しても存在感のある施設づくりに励んで参りたいと思っております。更なるご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

経営方針

重点目標

I 介護保険制度化での

安定した経営

今年度は、昨年度実施された介護報酬の引下げ・東京都が行なってきた「特別養護老人ホーム経営支援補助金制度」の大半を占めていたⅡ類の廃止等により非常に厳しい財政状況の中、職員の減員による人件費の減額・一般管理費、直接介護費の見直し等を行なうとともに、更なるベッド回転率の向上、要介護度4を目標とした平均要介護度の維持、短期入所生活介護事業の利用増による収入増に努め、将来の安定した施設独自の経営基盤の確立を図って行きたい。

Ⅱ 職員の意識改革と

資質の向上

しかし、このような背景の中においても利用者の快適な生活を中心とした事業展開でなければ利用者に選択されうる施設とはなりません。職員の資質の向上、第三者サービス評価の実施、リスクマネジメントへの取り組み、苦情処理体制の充実、サービスの質の向上、身体拘束廃止の徹底、ホームページ・広報誌による情報公開の充実等を積極的に推進していく。

Ⅲ 法人の理念である

「心の福祉」の実践とチーフワークの強化

人間的なふれあいの中での処遇の実践とプロ意識の徹底。目的達成の為の協力体制の確立。

また、高齢化の進む町内の地域状況を勘案したより良いサービスを提供できる体制作りを進め、利用者・家族等地域住民の皆様が気軽に相談でき、個々の状況に即したショートステイの利用、施設入所への円滑な援助ができるよう努めていきたい。



奥多摩消防署との 合同消防訓練が 実施されました

2月20日に春の火災予防運動の一環として、奥多摩消防署との合同消防訓練を行いました。日頃より施設の特性を考慮し、夜間防火体制の強化・予防消防の徹底を重点的に毎月1回の消防訓練を行い、利用者・職員が安心して生活・勤務できるよう努めています。



合同消防訓練の様子（琴清苑駐車場にて）

面会簿記入 のお願い

琴清苑では面会者の数を把握する為、面会簿の記入をお願いしています。この事に関しましては、3年前になりましたが本誌第5号で一度掲載させて頂いていますが、再度お願いを申し上げます。

施設では毎月、面会者の人数を把握する為、面会簿を集計しています。しかしながら、まだまだ未記入の方が多く見受けられます。実際の面会数を把握できません。ぜひ、協力をお願いいたします。利用者の入退所によって、当然の事ながら面会に訪れる方の顔ぶれも自然と変わってきます。利用者の一番の楽しみは何と言いましても、ご家族・知人の方々の面会である事は間違い有りません。毎日楽しみに待っていると思います。当苑でも、一人でも多くの方が面会に訪れて頂けるよう、より良い施設を目指して、職員一丸となって頑張っています。

これから新緑の美しい季節になります。是非、琴清苑に面会にお越しください。その際には、面会簿のご記入にご協力をお願いいたします。



カルタ大会

例の1月1日、お正月恒例のカルタ大会が行なわれ、元気に参加出来る利用者が増え、少しづつある現状の中、カルタ大会が始まるに力が入り、日常の生活でも見られ、笑い顔、そして利用者及び職員、その日々のストレスを散が出来るのでは無いでしょうか。

餅つき大会

1月23日に昼食会を兼ねて餅つき大会が行なわれました。半数以上の利用者が見守る中、餅を搗く佐々木相談員・近藤介護職員と慣れた手つきで、あいの手を入れる杉山初子介護職員、今年の餅はとても美味しく搗き上がり、普段の食事状況から餅を食べるのが無理かと思われた利用者も、とても美味しく頂くに頂いておりました。

日頃の状態だけから判断をすることのむずかしさを感じると共に、食べる楽しさを満たす事により、こんな生き生きとした表情を見る事が出来ました。



銘子・明太・きな粉等を絡めて搗き立ての餅を頂きました



餅を搗く近藤・杉山介護職員

氷川小学校4・5年生訪問

1月27日に、氷川小学校4・5年生の児童の皆さんが訪問されました。日頃授業や放課後の練習された、合奏や楽器の演奏等を披露され、利用者の皆様も一緒に、なつて歌い、音楽に方々、傾け、楽しい時間を過ごされ、訪ねて来た児童の皆さんが、いろいろな感動を味わった。有意義な一時を過ごすことが出来た。



熱演している小学生

節分

2月3日毎年恒例の豆まきが行なわれました。窓を開け放した居室から、「鬼は外・福は内」と元氣な利用者の声があい響きます。三匹の赤鬼・青鬼めがけ豆を投げる手にも、どんどん力がいります。

「とても、年の数なんて食べられないよ」と冗談をおっしゃる方、車椅子に乗ったまま必死になって鬼を追いかけ、そのほほえましい姿に今年も間違いなく、福の神が琴清苑に舞い降りて来ている分の日でした。



豆まきの様子



巫女役の小泉介護職員に豆を頂く藤田セキ様

涅槃会

お釈迦様が八十歳の生涯を閉じられた2月15日涅槃会を行いました。



献花を行なう様子
山田智恵子様と佐々木相談員



献茶を行なう様子
左から大堀綾子様・比留間ハナ様

昨年からは歩行可能な利用者が減少している為、参加者が限定されてしまうなか、6名の代表者の方により献香・献茶・献花を行なう事が出来ました。

ひな祭り

3月3日におひな様会が行われ、新しく入所された三名の方々を交えて、唄を歌い写真を撮りました。中でも林さんはとてもきれいと感激されていました。



雛壇を前に左から 浅田コトミ様
山田智恵子様・林千代子様

ドクター中野の星のおはなし No.12

火星探査機

昨年火星大接近で表面模様の詳細、南極冠の変化等々が詳しく観測された。他に今年1月頃、火星表面上に探査機が上陸するよう綿密な計算の下で日・米・英から探査機が発射されていたが、この中で米のスピリット1号のローバ（無人火星探査車）とオポチュニティの2機が安着した。スピリットの方は、2003年6月10日フロリダで打ち上げられ、日本時刻1月1日午後1時35分であった。地球から4億7千万キロの旅となった。着陸地点はグセフ火口（直径150km）である。探査機から探査車がはなれ、表面の画像の送信が始まり、岩石がアームで削られるところ、層状の岩石、等々詳しい風景が見られた。ところが、こういった訳か送信が途絶えてしまった。調査で記憶装置管理のソフトウェアの異常であることが判明。修復をはじめ、2月1日になってようやく正常な通信が始まった。他の1台のローバはオポチュニティとよばれる。1月25日、スピリットと火星反対側の地点に着陸した。1月31日より走行をはじめ、地質調査にとりかかった。着陸地点は、径20mばかりの小さなクレーターの中だったが、他の景色とは異なり赤い色の砂状の土壌に覆われていると言う、この小さなクレーターから脱出し大きなクレーターに過去の湖を証明出来そうだと言う。ローバが火星の大気突入後、パラシュートで降下し、逆噴射で何回も減速しては跳ねて着陸する様子が見られる。7年前、火星面を探索したマーズ・ソジャーナーよりも今回のローバは足が速く性能抜群と言われている。これから向う3ヶ月、岩石の分析、土壌の検査、スペクトル分析等々、生命と結びつくものは何かといった結果が集大成されるであろう。この2機のローバの他、英国の「ビーガル2号」は、2003年6月2日、打ち上げられ、12月25日到着予定だ

たが、アンテナや他の信号により追跡困難となり、行方不明となった。日本の計画は火星上層大気と太陽風との関係を知る為、1938年7月4日「のぞみ」が打ち上げられた。12月に入り、火星の軌道にのる寸前で故障が起き機能不全となり、消滅、望みは果たせないまま終わった。次の機会の成功を祈りたい。火星の探査車は、過去に大量の水があったという証拠を見出した。（詳細は次号で）



荒涼とした中央平原の光景（Sky&Telescopeより）



スピリットの採取した岩石。サッカーのボール大の大きさに「アディロンダック」と呼ばれる。ニューヨーク近くの山脈に似ている。最初の分析対象となったもの。（Sky&Telescopeより）



サシミ・スシと命名された岩石。この近くは「ワサビ」域と呼ばれる。（月刊 星ナビより）

入苑された利用者（1月～3月）

1月	浅田コトミ	様	台東区
1月	林千代子	様	板橋区
1月	戸塚 忠	様	杉並区
1月	福田 禮子	様	杉並区
2月	山田智恵子	様	足立区
3月	須崎金太郎	様	奥多摩町

職員の異動

入 職	村木将大	(パート職員)
入 職	浜野経子	(パート職員)
入 職	川島 慎介	(パート職員)
定年退職	小泉ナカヨ	(介護職員)
定年退職	田中洋子	(介護職員)
退 職	古菅光平	(パート職員)



待ち焦がれた、桜咲く春の訪れです。もう間もなく、桜前線がやってきました。当山にも毎年お花見に出かけます。残念ながら利用者の重なりにより、今年も参加者が少なく、来ても、お花見です。今年も、琴清苑の「何名の方が参加して頂いているかな」と楽しみ

編集後記

ボランティア状況（1月～3月）（敬称略）
 シーツ交換
 酒井久、杉山初、奥平恭子
 馬場静子、たんぼの会
 指圧奉仕
 奥多摩奉仕会
 洗濯補助
 原島サキ子
 介護補助
 清水恵美



行事予定

4月 2日	お花見
	寿司の日
4月 8日	花祭り
4月16日	昼食会
5月3・4・5日	菖蒲湯
5月14日	昼食会
6月7・8日	全館清掃
6月18日	昼食会